

高岡ロータリークラブ

会長／西村博邦 幹事／竹中伸行



2018/2/22

ロータリー：
変化をもたらす No. 31

Rotary: Making A Difference

例会日：木曜日 12:30～13:30 創立：1951/11/15 チャーターナイト：1952/4/15 創立順位：No.68

司会 中川 会場監督 点鐘 西村 会長

国歌斉唱／ロータリーソング

ロータリーの目的 朗読／四つのテスト 唱和

ゲスト 黒川 舞弥さん

平井 鈴乃さん

田中 大成さん

魚津 朱音さん

会長挨拶／報告

■誕生祝 ニロ 洋君〔3/1・51才〕

■牧野会員より会葬のお礼

幹事報告

■退会されるニロ 洋会員に記念品贈呈、退会の挨拶

■ニロ洋会員送別会⇒2/23（金）18:00～ フォーテリス

■富山第3分区都市連合会（IM）⇒2/25

HNオ-高岡（日）受付 15:00／点鐘 15:30

＜ ニコニコBOX ＜ 12件 41,000円 ＞

西村会長／本日の卓話は伏木高校インターアクトクラブの皆様をお迎えしての活動報告です。よろしくお願い致します。

伏江副会長／伏木高校インターアクトクラブの皆様、村中顧問。卓話よろしくお願い致します。

竹中幹事／伏木高校インターアクトクラブの皆様、本日の発表よろしくお願い致します。ニロ洋さん、これまでお世話になりました。今後のご活躍をご祈念しております。

藤田君／村中先生ようこそ来会くださいました。お久しぶりです。伏木高校生徒さん本日よろしくお願い致します。感謝。

永田君／高岡問屋センター創立 50 周年記念式典にあたり「中小企業長官賞」をいただきました。これからも精励いたします。

若野君／広報に掲載いただき有難うございました。

塩崎（吉）君／娘が私立大学合格しました。国立は今週末です。ガンバレ！

高野君／2月22日高田馬場で娘が結婚式を挙げました。バスを貸切、親戚一同を連れて行ってきました。嫁がせる親の嬉しいような寂しいような気持ちです。早く孫ができるのを期待しています。

吉田君／当ホテル内「ENJYU」に於きましてお客様の1人がアニサキスを原因とする食中毒を発症され2月21日22日の2日間の営業停止を命ぜられま

した。皆様にはご迷惑ご心配をお掛け致しまして心よりお詫び申し上げます。今後はスタッフ一丸となって信頼回復に努めて参りますので、引き続きご高配を賜りたく宜しくお願い致します。

高木君／ピョンチャンオリンピックでは連日の日本選手の活躍に興奮しています。中でもスピードスケート女子団体追い抜きの中継では自分の名前が連呼されているようで応援にもいっそう力が入りました。もう他人とは思えません。美帆ちゃん、菜那ちゃんおめでとう。

ニロ君／誕生祝をいただき有難うございます。今日をもちまして高岡RCを卒業することになりました。

皆様大変お世話になりました。

才高君／皆出席祝いただきました。

本日のプログラム



卓話

『 インターアクトクラブ活動報告 』

伏木高校インターアクトクラブ 田中 大成

これから私の「高校生活における国際交流」について発表します。

私は高校時代に多くの国際交流を経験してきました。高校一年生の時に中国、韓国の友好校の生徒が来校した際、ホームステイ受け入れました。高校二年生の時には、韓国の友好校の生徒のホームステイの受け入れ、中国への語学研修、そして皆様のご支援のおかげで台湾への研修も経験することができました。高校三年生の時には、中国の友好校の生徒のホームステイを受

け入れました。今日はこれらを通して感じたことなどについて発表しようと思います。

まず高校一年生の時、私は自分がこれほどまでに国際交流に参加するとは思っていませんでした。もっと言えば、私は中学三年生の一月まで商業高校に進学しようと考えていたので、このような国際交流科の学校に入学してしまったことも想定外でした。それが、いろいろな巡りあわせによりこの伏木高校に入学し、ある一人の人物に出会いました。この人物との出会いが私の人生を180度変えることとなります。その人物とは…皆さんもご存じの村中先生です。

私が高校一年生の時、部活動の関係で村中先生の運転する車、通称村中号の助手席に乗せていただく機会がありました。そのとき、突然先生が、「大成、今度中国の生徒のホームステイを受け入れないか」とおっしゃいました。村中先生は、日頃の授業中にも「今日習ったことは廊下に出たらすべて忘れます。これが老化現象。」とか「昔はクラリネットを吹いていました。今はホラをふいています。」などとおっしゃって、よく冗談を口にされています。そのため、この「ホームステイを受け入れてくれ」というのも、冗談だと思った私は、その時は適当に受け流していました。しかし、それからというもの毎日毎日先生はその話をされ、拳句の果てには家に電話までかかってきたので、一回だけホームステイの受け入れをしようということになりました。これが僕にとって人生初となるホームステイの受け入れでした。当時、私は自分の語学力に多少の自信があり、うまくやり過ごせると思っていました。しかし、実際に受け入れをしてみると、思うようにコミュニケーションをとることができずとても苦勞し、自分の語学力やコミュニケーション能力の乏しさを痛感させられました。この時に、井の中の蛙は大海を知ることとなります。

それまで、私は外国といえば、このような人が住むところを想像しており、中国やアジア全般のことには全く興味がなく、中国という国は未知の国でした。だからこの時の経験を通して中国の生活、言葉、食べ物、文化はどのようなものなのか、と好奇心をものすごく掻き立てられました。この時の気持ちは、アメリカ大陸を発見した時のコロンブスに似たものがあると自分では思っています。そして、伏木高校では、全校生徒がロシア語、韓国語、中国語のいずれかを学習しているのですが、当時第一希望としていたロシア語ではなく中国語を学習しようと考えました。そして、その時知り合った中国人にきっと会いに行こうと思いました。これが高校生活における初めての国際交流であり、この時の経験が私の人生に大きな影響を及ぼしました。それから数か月後、次は、4 韓国の生徒のホームステイを受け入れてくれと再び村中先生に声をかけられました。私はとても乗り気ですぐに親に相談しました。しかし、親は前回の中国の生徒を受け入れた時以上気の進まない様子で、「ホームステイの受け入れは一回だけしかやらないとittedar。ましてや韓国人なんて、

絶対に嫌だ。」と言われてしまいました。それでも僕はそんな親を説得して、韓国の生徒のホームステイを受け入れました。その時家に来た韓国人は日本語がペラペラで驚きました。

その翌年、高校二年生になった私は、また韓国の生徒を受け入れました。親は、受け入れをしたくないといっても私が聞く耳を持たないということを知っていたので、何も文句は言いませんでした。この時に来た韓国人も日本語がペラペラで、ましてやアニメで日本語を覚えたと言っていたことにとっても驚きました。

そしてその年の12月には私自身が中国に行きホームステイを体験しました。泊まった家はオブラートに包んで言うとても庶民的でしたので、普通に旅行するだけでは決して経験することのできない、また二度と同じような経験はしたくないと思うような体験をしました。そして一緒に中国に行った人たちからの様々な話を聞き、中国の貧富の激しさを感じました。この時のことはとても貴重な体験で、人生において大きな経験になったとも感じています。また現地の学校で授業を受けた時にはたくさんの人が英語で話しかけてくれ、中国の人のコミュニケーション能力の高さを感じました。またこの時に私が一年生のときに出会った中国人とも再会できました。

また、台湾に行ったときには、中国と台湾の違いを感じる事ができました。それまで私は中国も台湾も同じであるという印象を持っていたので、台湾に行きそれを感じる事ができたということはとても良い経験になりました。また台湾と中国の間には大きな溝があるということも知ることができました。

そして高校三年生の時の7月には中国の生徒のホームステイを受け入れました。これが四回目のホームステイの受け入れになります。私は中国に行った際の私のホストブラザーがやってきたので彼を受け入れたのですが、実は私がその一年前に受け入れた韓国の友人もまた日本に来てくれていました。このように交流が続いていることがとてもうれしかったです。

これらの経験から、海外の人との交流において一番重要なことは、上手に英語などを話すことではなく、自分の思いを伝えようと努力することだと感じました。私は初めてホームステイを受け入れた時にみんなで花火をしました。その際に「八連発打ち上げ花火」を指さし、「これはどうやって使いますか」と中国の友人に聞かれ、「エイト、ボーン」と答えてしまったり、ファミリーレストランで食事をした際に、「これは何ですか」と聞かれ「ミートジュー」と答えてしまったりしました。この時私はみんなに笑われ恥ずかしかったのですが、それまで中国の友人とはうまくコミュニケーションがとれていなかったため、これを機に彼らとの距離が縮まったのを感じ、とてもうれしかったです。また台湾や中国に行った際には、英語がほとんどできないような人たちが、現地の人々ととても仲良く写真を撮ったりして親交を深めている姿を見ることができました。このように多くの方が乗り越えることは容易くな

いと考えている言葉の壁は、積極的に交流を行おうと努力することで簡単に壊すことができるのだと感じました。

私はこれらの交流を通して多くの人から様々な話を聞くことができました。それは決して楽しい内容のものだけではありません。台湾に行った際には、中台問題、韓国の生徒からは兵役について、中国の生徒からは韓国とのTHIRDの問題、情報が規制されていることなどについて聞くことができました。また、去年は北朝鮮問題がニュースを騒がせました。それまで私は日本が平和であると思っていましたが、隣国がこれらの問題に悩まされている中で、日本だけがそれを他人事のように傍観し、平和であるというわけにはいかないと思いました。私は国際交流を通してこれらの問題があるということに気づけたのが3年間の高校生活での一番の収穫であると思います。また日本においては歴史問題が障壁となり韓国や中国と未来にむけての話がなかなかできないという現実があります。正直、歴史の真相は時がたつにつれ闇に埋もれていくので、歴史問題を解決することは誰かがタイムマシンを開発しない限り無理だと思います。しかし、そんな夢物語を言っているわけにもいきません。そんな中で、この状況を打開するために私たちに唯一残されているのが民間での交流です。私たちが民間での交流を活発に行い、相互理解を深めることで、「昔の日本は」、「日本政府は」、から「今の日本は」、「日本の国民は」と言ってもらえるようにしていかなければならないと思います。そのためにも、この3年間のなかで生み出した友情を大切に私の高校生活における国際交流を僕の人生における国際交流へと発展させていきたいと思ひます。

最後に私は来週に卒業を控えており、高校生活もあと一週間しかありませんが、この発表のタイトルでもある高校生活における国際交流はまだ終わりではありません。明日から友達に会いに韓国に行きホームステイをします。この人たちは私が高校二年生の時に僕受け入れてあげたホストブラザーで、私が高校三年生の時にも私に会いに日本に来てくれた人たちです。彼らとは今でも毎日連絡を取り合うほど仲はいいのですが、この交流を通して彼らとより親密な関係を築き、今後の国際情勢において有意義な時間を過ごしていきたいと思ひます。

《理事会報告》

■会員退会の件⇒可決

二〇 洋 会員 2/28 付退会（転勤）

■利長公シンポジウムⅡの件⇒可決

日 時：4/28（土）

14:00～14:30 基調講演

14:35～15:35 パネルディスカッション

15:35～15:40 質疑応答

場 所：HNオータニ高岡 鳳凰の間

■利長公シンポジウムⅡ開催による例会変更の件⇒可決

4/26（木）12:30～13:30⇒4/28（土）12:30～13:00

■板橋 RC 姉妹締結記念例会の時間変更の件

⇒可決

昼例会を夜に時間変更

日 時：4/5（木） 18:00～ 例会

18:30～ 懇親会

例 会：パンチャオメモリアル（国際奉仕担当）

■チャーターナイト記念例会の件

日 時：4/12（木）例会 18:00～懇親会 18:30～

場 所：高岡大和 7F レストラン

会 費：6,000 円

■第3回親睦ゴルフの件（兼 5RC 合同ゴルフ大会）

日 時：4/15（日）11:00～

場 所：小杉カントリークラブ

会 費：6,000 円（5RC 合同ゴルフ大会）
3,000 円（親睦ゴルフ大会）

■第4回親睦ゴルフの件（兼高岡LC対抗戦）

日 時：5/9（水）10:00～

場 所：高岡カントリークラブ 頼成コース

会費：5,000 円

表彰式：錦州

*キャディ 2,3 組セルフ

その他

報告事項

*新年初例会収支報告